

「課題提示型」提案募集シート

1 提案を募集する内容について

募集テーマ	No. 55	鹿児島市域内に潜在する環境価値の J-クレジット化
提案を募集する背景 (現状・課題)	G X 推進法に基づき、2026 年度から一定以上の C O₂ を排出する事業者に対して排出権取引制度が開始され、炭素に値段が付く「カーボンプライシング」が注目されている。 このカーボンプライシングの一種で、自らの C O₂ 削減量に価値化を付け、売買することができる「J-クレジット」という制度があり、排出権取引制度の開始に伴い、今後、その価値の上昇が見込まれている。 鹿児島市域内には、照明の LED 化や太陽光発電設備の導入により削減された C O₂ の持つ環境価値が、利用されずに失われている状況にあるため、それらを J-クレジットとして価値化し、本市脱炭素施策の財源等として有効活用する取り組みを始めたいと考えている。	
課題解決に向けて 募集する提案内容	本市太陽光補助金によって生じる環境価値等を J-クレジット化する実証実験 (実証実験に関する提案の希望： ☒ あり ☐ なし)	
想定する提案の例 (イメージ)	(提案内容は下記の例に限定されるものではありません) ・市補助金による環境価値の J-クレジット化 ・市有施設や市内事業者の照明 LED 化、高効率空調の導入等による環境価値の J-クレジット化 (他都市における類似の事例： ☒ あり ☐ なし) ・県内では、薩摩川内市や指宿市が環境価値の J-クレジット化を実施 ・脱炭素先行地域である千葉県匝瑳市などでも事例あり	
課題解決に向けて、 これまでに実施した ことがある主な取組	・鹿児島県の「かごしまエコファン」を活用した市有林の間伐による C O₂ 吸収量のクレジット化	

2 提案にあたっての条件について

募集期間	掲載日～令和 8 年 8 月 3 1 日 (但し、予告なく中止することがあります)
想定している 実施時期	(市の事業費負担がない場合) ☐ 随時 ☒ 令和 8 年 9 月～令和 9 年 3 月の間 ☐ その他 () (市の事業費負担がある場合) 令和 9 年度以降

提案者に求める 専門性	環境価値の J-クレジット化に関する知見、ノウハウ
本市から 提供できるメリット	☒ 連携事業の広報・PR：<u>市政記者クラブへの情報提供（報道機関へのプレスリリース）や市ホームページへの掲載等</u> ☒ 関連するデータ（市補助金や市有施設の設備更新のデータ）の提供 ☒ 実施にあたっての関係機関との協議・調整のサポート：<u>J-クレジットに関する市内事業者との協議のサポート</u> □ その他（ ） ※上記は現時点で想定している内容です。連携する取組内容によって、改めて市が負担・協力できる内容を協議・検討させていただきます。
その他の留意点	☒ 基本的には、市に事業費の負担が生じない提案を希望しています。 ☒ 現時点での予算措置はありませんが、提案内容により予算措置を検討することがあります。（市の事業費負担がある提案の実施に関しては、関係法令等に基づき、改めて、公募等を行います。） （以下には、個別の留意点を記載） ・ J-クレジット化は市の任意のタイミングで中止する可能性があります。 ・ 市の費用負担のない形での J-クレジット化を検討しています。 ・ 創出した J-クレジットが、できるだけ地産地消となる提案をお願いします。 ・ 創出した J-クレジットの販売代金のうち、市の歳入となる割合について、提案資料で提示をお願いします。
提案内容に関する お問い合わせ先 （事業所管課）	鹿児島市環境局環境部環境政策課 電 話：099-216-1479 メール：kanseisaku@city.kagoshima.lg.jp